

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和2年11月20日
東村山市議会議長 あて

議席番号 6番
質問者 下沢 ゆきお

記

1. 地元企業への発注機会の拡大を

- (1) 当市において、平成27年度から総合評価入札方式による公共工事の入札が試行されている。一般競争入札に総合評価方式を導入した背景とその目的は何か。
- (2) 総合評価入札方式によるこれまでの実績を伺う。また、試行の結果をどのように分析しているか。
- (3) 総合評価入札方式では、価格点以外に「企業・技術者の能力」「地域精進度・地域貢献度」が技術評価点となっているが、具体的な評価項目はどのようなものか。
- (4) 小平市総合評価方式ガイドラインによれば、技術評価項目が細分化されている。当市との違いについて、どうとらえているか。
- (5) 公共事業として発注した工事案件について、実際に価格点以外の技術評価項目点により、落札者が決定した事例はあるのか。
- (6) 試行的に総合評価入札方式を導入して6年となる。当市において、本格施行はしないのか。
- (7) 総合評価入札方式の対象を公共工事に限定するのではなく、製造の請負、設計・測量・地質調査等の業務委託、物品の購入、役務の提供など建設工事の請負以外の委託業務等についても対象とするべきと考えるが、所管の見解を伺う。
- (8) 市内企業の受注機会の拡大のためにも同方式の本格導入は必要と考えるが、総括して市長の見解を伺う。

2. 中小企業・小規模事業者に対する金融・経営支援について

- (1) 新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けている市内中小企業者に対する支援策として、本市では、独自の様々な施策を展開している。以下の施策の本年4月以降の利用状況等を伺う。
- ① 小口事業資金融資制度・緊急対策特別資金融資の申込件数・融資希望額、実際の融資件数・融資額
 - ② 東村山応援金事業の申込件数、助成件数・助成額
 - ③ 中小企業等事業継続補助事業の申込件数、助成件数・助成額
 - ④ Bisport 東村山による「電話相談」「オンライン相談」の申込件数、相談対応件数
- (2) 上記(1)の支援策に対する市内商工業者からの意見や要望はないか。
- (3) 今後の施策展開にあたり、市内中小企業・小規模事業者における新型コロナウイルス感染症の影響など経営動向調査を実施するべきと考えるが、見解を伺う。
- (4) 現行の資金繰り支援、経営支援のための助成措置などはコロナ禍による時限的な措置が多い。現行の小口事業資金融資制度・緊急対策特別資金融資について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、融資取扱期間を市長が別途定めているが、今後の延長の見通しを伺う。また、他の助成策についても国の制度の存続にもよるが、継続して実施する方針なのか伺う。
- (5) 資金需要が見込まれる年末に向け、金融支援策等の中小企業者への周知や金融相談窓口の設置などの取組が必要と考えるが、具体策はあるのか。